

明治期の港産業遺産：
オランダ人技師ムルドルの設計による道路・水路を含む港湾都市産業遺産



撮影：2015年3月（熊本県宇城市・三角西港）

◆明治三大築港

明治20年に竣工した三角西港は、三国港（福井県）、野蒜築港（宮城県）とともに明治三大築港事業の近代港湾施設です。実際に施工したのは長崎グラバー邸などを手がけた天草の石工達で、その堂々たる石積み埠頭は、今も港の産業遺産として代表的な存在となっています。

◆三角西港の歴史的建造物

港湾施設の埠頭、旧三角海運倉庫、旧三角簡易裁判所、背後地からの排水路など、トータルデザインされた建造物は、国重要文化財、国登録有形文化財の産業遺産群として世界遺産登録を目指しています。

岡村幸二（JRRN会員）